

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	530	乳幼児の育成指導事業	01	01	一般会計
基本施策	8	子どもを生み育てやすい環境をつくる	04	04	衛生費
担当部課名		伊賀支所健康福祉課	01	01	保健衛生費
作成者氏名	福永保	連絡先	01	01	保健衛生総務費
		45-9105	103	103	母子保健事業
			02	02	乳幼児の育成指導事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	◎乳幼児相談等: 伊賀市内の乳幼児及びその保護者 ◎いのちの育み教室: 支所管内小学校高学年	◎育児に対する正しい知識が得られ、保護者の子育ての不安の解消が図られます。 ◎自分の命も他人の命も、同様に大切だと思える学童が増加します。			
本年度事業内容	【乳幼児相談】 身体計測の実施と、育児上の相談に保健師と栄養士が応じます。年間8回実施。 【離乳食実習】 離乳の前期と後期に分けて、栄養士による講義と離乳食調理実習を行います。前期・後期とも年間3回ずつ実施。託児サービスあり。 【乳児教室】 生後3月～7月頃までの乳児を対象に、2回1クールで、年間3クール開催します。乳幼児の事故予防について、乳幼児の心肺蘇生法の実習、ベビーマッサージとおやつのとおり方等について学習していただきます。保護者同士の交流の機会ともなっています。 【いのちの育み教室】 壬生野小学校4年生を対象に、助産師による命の誕生やそれにかかわる人の思いについて学習していただきました。実際に学校へ妊婦にお越しいただき、胎児の心音を聞いたり、乳児とその母親とのふれあいをとおして、命の大切さについて考える機会としました。				
開始年度	平成 40 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	母子保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	139	112	135
報償費	25	45	65
需用費	98	67	70
役務費	16		
合計(A+B)	1,579	1,552	1,575
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,579	1,552	1,575
上記①～③に関する特記事項	嘱託栄養士投入人員: 0. 1人(17、18、19年度とも)		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
乳幼児相談来所者数	人	61	70	70			
離乳教室受講者数	人	83	100	100			
乳児教室受講者数	人	99	120	120			
いのちの育み教室開催校	校	1	3	5			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
乳児教室出席者の満足度	乳児教室の終了時に、教室内容等についてのアンケートを実施しました。アンケート回答者を分母として、アンケートで教室内容が期待どおりと答えた方を分子として、満足度を指標としました。	%	90.7 目標 ( 95 )	95.0	95.0
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市町村合併により、それまでの各市町村が実施してきた各種事業を検討、再構築しました。子育てに不安を感じている親が年々増加する傾向にあるため、乳幼児相談は身近な各支所で開催することとし、その他の教育事業は各支所で分担して事業を受け持ち実施することとしました。伊賀支所では、嘱託栄養士を雇用しているとともに、保健センター調理室を有効活用できるため、離乳食教室を開催しています。また乳児教室も年間3クール開催しており、伊賀市全域から受講されています。しかし伊賀市全体で考えた場合の、実施回数や実施場所の設定が適切であるかを今後検討する必要があります。また伊賀支所では、17年度より管内の小中学校を対象に、地域保健と学校との連携事業として命の大切さについて感じ考えていただくための、いのちの育み教室を開始しました。19年度は中学校との連携事業も考えています。

評価	必要性	4	乳幼児相談は、身近で育児の相談できる場所として利用されています。乳児教室や離乳食教室は、聞くだけでなく、実習をしていただくことにより身につけやすい内容となっています。伊賀市全域から出席者があり、保護者おしとの交流の場としても役立っています。学校との連携事業は、その後いただいた学生からの感想文をみても、学びが大きいことがわかり、小学校からも高い評価をいただいています。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		